

地 理

I 領土問題に関する次の文をよく読んで、〔1〕～〔6〕の問いに答えよ。

国家は、これまで幾度となく戦争や紛争を繰り返してきた。20世紀前半の2度にわたる世界大戦はもちろんのこと、その後の冷戦と呼ばれる資本主義国と社会主義国^(a)の対立した状況下においても、そして近年においてすら、国家間の争いは終息することがない^(b)。こうしたなかで、国家が獲得もしくは保持することを目指してきたものの1つに、領土がある。国家の主権がおよぶ領域は、陸地部分の領土、一般に〔A〕潮時の海岸線から12海里（約〔イ〕km）の範囲で設定される領海、領土・領海の上空にある領空から成っている。このように、領土は領域の基軸となるものであり、国家にとって重要なのである。

領土をめぐる争いは、しばしば民族に関する問題と関係している。たとえば、多民族国家であった〔B〕は、スロベニア共和国をはじめとする6つの共和国と2つの自治州が連合して成り立っている〔C〕国家であったが、民族間の対立を背景に、1992年に解体している。この争いは、〔D〕人とクロアチア人が対立したクロアチアや、〔D〕人とクロアチア人およびムスリム人（ムスリムで構成される民族）が対立したボスニア・ヘルツェゴビナのように、激しい民族間の紛争をともなっていた。さらに、天然資源の領有をめぐる対立も、領土問題の原因となる場合がある。南シナ海にある〔E〕群島（スプラトリ諸島）は、周辺海域における海底油田やガス田の存在が明らかになるなかで、その領有権を主張する周辺諸国^(c)の間で、対立が強まっている。

日本の領土は、2018年現在で約〔ロ〕万km²であり、北端が択捉島、東端が〔F〕島、西端が〔G〕島、南端が沖ノ鳥島となっている。多くの島々からなる日本は、領土の約〔ハ〕倍にのぼる広大な排他的経済水域を有している。この日本においても、領土問題は大きな課題となっている。その1つに北方領土問題がある。日本は、19〔ニ〕年に署名された「日本国との平和条約（サンフランシスコ平和条約）」で樺太の一部と千島列島の領有権を放棄したが、北方領土の4島^(d)については日本固有の領土であるとしており、そこを占拠するロシアに返還を求めて

いる。その他の問題としては **H** 県に属する竹島に関するものがあり、同島を占拠している韓国に対して、日本は抗議している。なお、東シナ海にある **I** 諸島は、中国がその領有権を主張しているが、日本はそこが歴史的にも国際法上も日本固有の領土であるとしている。

[1] 文中の **A** ~ **I** に当てはまる最も適切な語句または地名を答えよ。

[2] 文中の **イ** ~ **ニ** に当てはまる最も適切な数値を、次の選択肢の中からそれぞれ1つずつ選び、符号で答えよ。

- Ⓐ 10 Ⓘ 22 Ⓚ 38 Ⓝ 45 Ⓞ 51
Ⓢ 64 Ⓚ 72 Ⓛ 83 Ⓝ 99

[3] 下線部(a)に関して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 1949年にアメリカ合衆国とカナダ、そして西ヨーロッパ諸国が結成した軍事同盟は何と呼ばれるか、最も適切な略称をアルファベットで答えよ。

(2) 1955年にソ連と東ヨーロッパ諸国が結成した軍事同盟は何と呼ばれるか、最も適切な名称を答えよ。

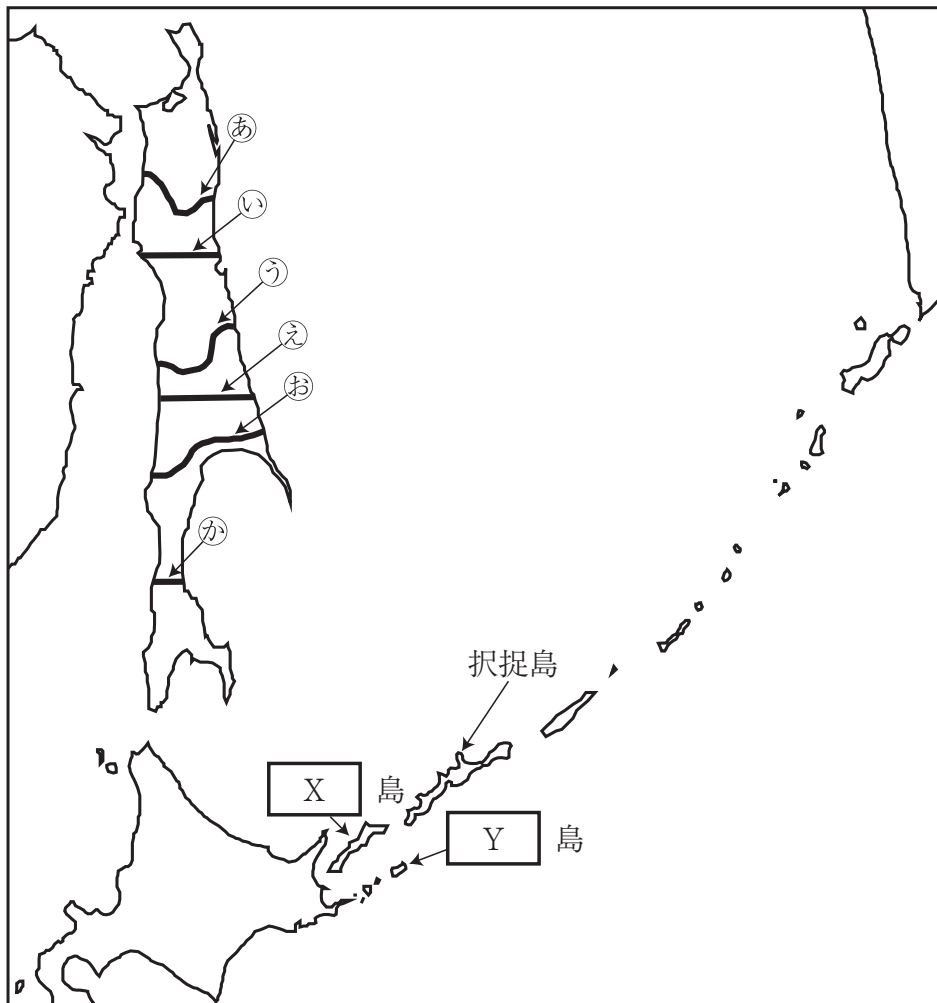
[4] 下線部(b)に関して、こうした状況に対応すべく設立されたのが国際連合である。この国際連合における組織の中で、国際社会の平和と安全を維持するための主たる責任を負い、制裁等を含む措置の実施を勧告したり決定したりする権限を有している機関は何と呼ばれるか、最も適切な名称を答えよ。

[5] 下線部(c)に関して、これに含まれないものを次の選択肢の中から1つ選び、符号で答えよ。

- Ⓐ インドネシア Ⓘ フィリピン Ⓚ ブルネイ
Ⓢ ベトナム Ⓚ マレーシア

〔6〕 下線部(d)に関して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 日本は1905年に樺太の一部をロシアから譲り受けている。樺太において、この時に設定された国境線として適切なものを、下の地図中の㉠～㉡の中から1つ選び、符号で答えよ。
- (2) 下の地図中にある、北方領土を構成する 島 ・ 島の島名を答えよ。



(このページは空白)

Ⅱ 原油を産出する国々に関する次の①～⑤の文をよく読んで、〔1〕～〔6〕の問いに答えよ。

- ① この国は、19世紀に自国内で原油の産出をはじめた。同国の代表的な油田には、 湾岸油田や、プルドーベイ油田があり、国内の産出量が多いが、世界有数の石油消費量をまかなうため原油を輸入している。
- ② この国の南に位置する 湾の周辺では、アフワーズ油田などが開発された。この国の油田開発は当初、外国の資本によって主導されたが、自国の利益を確保するために、同国は1960年に他の産油国とともに を結成した。その後、この国で起きた政変は第2次石油危機のきっかけとなった。
- ③ ^{とうしょ}島嶼国であるこの国は油田を有するものの、きわめて小規模である。石油の国内消費のほとんどは、おもに西アジアからの輸入でまかなわれており、石油危機では混乱が生じた。その後、自国内で石油備蓄が進められた。国内で自給できる主要鉱産資源は、化学肥料の原料や、コンクリートに用いられる の原料でもある石灰石が代表的なものである。
- ④ この国では、石炭とともに原油の産出量も多いが、石油消費量の増加にともない、近年では自給できずに世界有数の輸入国に転じている。シオンリー油田などで原油の産出が行われる一方、同国の企業が海外での油田開発に投資する動きもみられる。
- ⑤ 独立国家共同体の構成国であるこの国は、世界有数の原油産出量を有する。同国は、原油をおもに によって運搬している。近年稼動を開始した全長約5,000 km に及ぶE S P O は、その1つである。

〔1〕 文中の ～ に当てはまる最も適切な地名または語句を答えよ。

〔2〕 ①～⑤の文に当てはまる最も適切な国名をそれぞれ答えよ。

〔3〕 下線部(a)に関して、石油の採掘・輸送・精製・販売などにおいて、世界で主導権を有してきたのは国際石油資本である。これは一般に何と呼ばれるか、最も適切な名称をカタカナで答えよ。

〔4〕 下線部(b)に関して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 第2次石油危機が起きたのは何年か、最も適切なものを次の選択肢の中から1つ選び、符号で答えよ。

㉞ 1970年 ㉟ 1973年 ㊱ 1976年 ㊲ 1979年 ㊳ 1982年

(2) 第2次石油危機に先立つ、第1次石油危機のきっかけとなった出来事は何か、最も適切な語句を答えよ。

〔5〕 下線部(c)に関して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 1960年代後半、石炭から石油・天然ガスへと需要が大きく転換した。このことは何と呼ばれるか、最も適切な語句を答えよ。

(2) 2015年現在、④の国の石炭の産出量は世界第何位か、答えよ。

〔6〕 下線部(d)に関して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 独立国家共同体の略称は何か、アルファベット3文字で答えよ。

(2) 次の表は独立国家共同体における上位3カ国の原油産出量である(2017年現在)。表中のX・Yに当てはまる最も適切な国名をそれぞれ答えよ。

順位	国名	原油産出量 (万 kL)
1	⑤	63,717
2	X	10,191
3	Y	4,533

『世界国勢図会 2018/19年版』により作成

Ⅲ 南アメリカに関する次の地図と文をよく読んで、〔1〕～〔8〕の問いに答えよ。
 なお、地図中と文中の記号（A～E）は対応している。地図中の■は問いと関係する
 鉱山・油田の位置を示しており、■に付された数字（1～5）も文中の数字と対
 応している。また、この地図には、標高の分布が灰色の濃淡で示されている。



プレートテクトニクスの理論では、プレートの下に存在するやわらかく流動性の
 (a) 高い岩石層の上を滑るようにプレートが水平移動することで、かつて1つであった
 陸塊が分離と移動を続け、現在の6つの大陸と海洋の配置になったと考えられてい
 る。現在の南アメリカに当たる陸地は、中生代の中期頃にあった2つの大陸のうち、

イ 大陸に属していた。

プレートの境界付近では、活発な地殻変動や火山活動がみられる。南アメリカの太平洋側にあるプレート境界付近では、沖合の海底が深くなり、大陸プレートの縁に当たる部分にアンデス山脈が南北に長く形成されている。この山脈には6,000 mを超える山々が連なり、最高峰は A 山である。アンデス山脈の太平洋側は、亜熱帯高圧帯からの下降気流と沖合を流れる寒流の影響を受けて乾燥するため、B 砂漠が広がる。なお、この寒流は、ドイツの地理学者の名前を冠して C 海流とも称される。

アンデス山脈の一带は、多様な鉱産資源に富んでいる。世界最大の銅鉱の産出国はチリであり、同国北部に位置する露天掘りのエスコンディダ鉱山や 1 鉱山などは規模が大きい。銀鉱や亜鉛鉱、鉛鉱は、ペルーで産出量が多い。さらに、モリブデン鉱はチリで銅鉱とともに多く産出し、リチウムは観光地としても紹介される C 塩原に豊富な埋蔵が期待されている。また、アンデス山脈の周辺地域では、油田が分布している。ベネズエラには、湖底から採油を行ってきた 2 油田のほか、オリノコ川の流域に油田がある。

アンデス山脈より東から大西洋岸にかけての地域は、大部分が安定陸塊に当たる。D 高地やブラジル高原において、先カンブリア時代の岩盤が露出した土地は、その地質的特徴から楕状地に分類される。また、D 高地には、^(c)周囲が侵食され垂直に切り立ったテーブル状の地形がみられる地域があり、そこは世界遺産に登録されている。楕状地では、鉄鉱石の産出量が多い。ベネズエラの東部には、3 鉱山が位置し、そこは同国最大の鉄鉱山として知られる。ブラジルは、4 鉱山や日本との合弁で建設した製鉄所が近傍にある 5 鉱山を有し、世界的な鉄鉱石の産出国である。こうした大規模な鉱産資源の開発は、地域に及ぼす影響も大きい。1980年代に、4 鉱山を中心に鉄道や道路、発電所、農地などを総合的に開発する計画が始められたが、それが先住民の居住地や自然環境の破壊を招いたとの批判がある。近年、ブラジルは、リオデジャネイロ州の沖合で海底油田の開発を進め、石油の完全自給を達成した。また、アルゼンチンは、同国南部に位置する E 地方で、原油や天然ガスの産出量拡大を目指している。なお、この地方は卓越風に対面するアンデス山脈の風下に当たり乾燥するため、砂漠がみ

られる。

南アメリカにおける鉱産資源の開発は、アメリカ合衆国やヨーロッパの大企業からの資本提供や技術援助を受けて進展してきた。その一方で、外国の大企業に利益の大部分が持ち去られてしまうため、南アメリカの国々は、1960年代になると、鉱山や油田を 化したり、他国と国際的な組織を形成し産出量や価格に対する決定権を獲得したりすることで、自国の天然資源を経済的な自立と発展に結び付けようとした。その後、各国が工業の近代化を進め、経済発展を遂げていく中で、南アメリカの国々は、域内での貿易の自由化や域外に対する関税の統一を目指して、新たな経済同盟である 市場を1995年に発足させた。その加盟国である ブラジルは、BRICSの一国として、現在、世界の中での存在感を高めつつある。

- [1] 文中の ～ に当てはまる最も適切な語句を答えよ。
- [2] 文中の ～ に当てはまる最も適切な地名を答えよ。
- [3] 文中の ～ に当てはまる最も適切な鉱山・油田の名称を、次の選択肢の中から1つずつ選び、符号で答えよ。
- | | | |
|----------|-----------|----------|
| ㉞ イタピラ | ㉟ エルテニエンテ | ㊱ カラジャス |
| ㊲ サドバリ | ㊳ セロデパスコ | ㊴ セロボリバル |
| ㊵ チュキカマタ | ㊶ ビンガム | ㊷ ペチョラ |
| ㊸ ポトシ | ㊹ マラカイボ | ㊺ レフォルマ |
- [4] 下線部(a)に関して、この理論の前身となった大陸移動説を1912年に提唱したドイツの気象学者の名前を答えよ。

〔5〕 下線部(b)に関して、次の選択肢の中で、説明が適切でないものを2つ選び、
符号で答えよ。

- ㉔ オリノコ川の流域では、油分を含む砂岩から原油が回収されている。
- ㉕ オリノコ川の流域では、養分に乏しく赤みが強いラトソルがみられる。
- ㉖ オリノコ川の河口部では、円弧状三角州が大規模に形成されている。
- ㉗ オリノコ川の下流部では、1年を通じ月別の平均水位がほぼ一定する。
- ㉘ オリノコ川の流域に広がるリャノでは、焼畑農業が主に行われている。

〔6〕 下線部(c)に関して、このような地形は何と呼ばれるか、最も適切な名称をカタカナで答えよ。

〔7〕 下線部(d)に関して、このような動きは何と呼ばれるか、最も適切な語句を答えよ。

〔8〕 下線部(e)に関して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 次の表は、BRICSと呼ばれる5カ国の経済指標を示したものである。
ブラジルに当てはまるものはどれか、最も適切なものを1つ選び、表中の符号で答えよ。

BRICS 5カ国の経済指標 (2016年)

国	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘
GNI (10億米ドル)	1,426	307	1,836	2,212	11,374
1人当たりGNI (米ドル)	9,720	5,480	8,840	1,670	8,250
失業率 (%)	5.5	26.5	11.6	3.5	4.6

World Development Indicators により作成

- (2) 次の選択肢の中で、説明が適切なものを1つ選び、符号で答えよ。
- ㉔ ブラジルでは、航空機の製造が盛んである。
 - ㉕ ブラジルには、国連環境計画の本部が設置されている。
 - ㉖ ブラジルは、2016年にオリンピック・パラリンピックを首都で開催した。
 - ㉗ ブラジルは、2016年にTPP協定への署名を行った。
 - ㉘ ブラジルは、主要国首脳会議（サミット）の構成国である。
 - ㉙ ブラジルは、現在でも輸入代替型の工業化政策を推進している。